

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : Glutaraldehyde, 50% Biological Grade

製品番号 : 00377-500 (メーカー略号: PSI)

構成品名 : Glutaraldehyde, 50% Biological Grade

会社名 : コスモ・バイオ株式会社

住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号

担当部署 : 製品情報部

電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619

e-mail address : mail@cosmobio.co.jp

推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分 3

急性毒性(吸入) : 区分 1

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1

呼吸器感作性 : 区分 1

皮膚感作性 : 区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 1(中枢神経)

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分 1(気道)

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

飲み込むと有毒

吸入すると生命に危険

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

吸入するとアレルギー、ぜん息または、呼吸困難を起こすおそれ

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

臓器の障害(中枢神経)

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(気道)

水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

漏出物を回収すること。
特別な処置が緊急に必要である。
気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けること。
直ちに医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
口をすすぐこと。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

慣用名又は別名：グルタルール、ペンタン-1,5-ジアール、1,5-ペントジオン

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	官報公示整理番号
グルタルアルデヒド	50	111-30-8	2-509

危険有害成分

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当成分 グルタルアルデヒド
化管法「第1種指定化学物質」該当成分 グルタルアルデヒド

4. 応急措置**吸入した場合**

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
直ちに医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水又はシャワーで洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。
直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

直ちに医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護
適切な換気を確保する。
救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクなどの保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項
腐食性/刺激性製品。触れた物質を完全に洗い流す必要がある。
医師にはばく露物質名、経口毒性・非常に高い吸入毒性を有する製品であること、防護のための注意を通知する。
アレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれがある製品。症状が遅れて出ることがある。
特別な処置が緊急に必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

消防活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

消火水の下水への流入を防ぐ。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

回収が終わるまで充分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(注意事項)

皮膚に触れないようする。眼に入らないようする。

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

吸入によりアレルギー、ぜん息または、呼吸困難を起こすおそれがある。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

常温で保管すること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。

安全な容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

(グルタルアルデヒド)

日本産衛学会(2006) (最大値) 0.03ppm

(グルタルアルデヒド)

ACGIH(1998) STEL: 上限値 0.05ppm (上気道, 皮膚及び眼刺激; 中枢神経系障害)

特記事項

(グルタルアルデヒド)

皮膚感作性; 呼吸器感作性

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること(有機ガス用防毒マスク)。

手の保護具

保護手袋を着用する(不浸透性)。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：無色透明

臭い：刺激臭

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし
水に対する溶解度：混和する
n-オクタノール/水分配係数：データなし
蒸気圧：データなし
密度及び/又は相対密度：データなし
相対ガス密度(空気=1)：データなし
粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性
データなし

化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性
通常使用の条件下では危険な反応は知られていない。

避けるべき条件
熱、高温、水分の蒸発

混触危険物質

強酸、強塩基

危険有害な分解生成物
炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
rat LD50=66–183mg/kg (NICNAS, 1994)

急性毒性(経皮)
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
rabbit LD50=1360mg/kg (NICNAS, 1994)

急性毒性(吸入)
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
vapor: rat LC50=23.5ppm (NICNAS, 1994)

労働基準法：疾病化学物質

グルタルアルデヒド

局所効果

皮膚腐食性/刺激性
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
ラビット 腐食性 (DFGOT vol.8, 1997)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
ラビット 重度で持続的な刺激 (NICNAS, 1994)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性
[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
cat. 1; ACGIH, 2001

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
cat. 1; DFGOT vol.8, 1997

生殖細胞変異原性

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]
(グルタルアルデヒド)

発がん性

(グルタルアルデヒド)
ACGIH-A4(1998)：ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[区分1]

[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
中枢神経 (GESTIS, 2009)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
気道刺激性 (ACGIH, 2001)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
気道 (ACGIH, 2001)

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報**生態毒性****水生環境有害性**

水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]
(グルタルアルデヒド)
甲殻類 (オオミジンコ) EC50=0.75mg/L/48hr (US EPA: RED, 2007)

水溶解度

(グルタルアルデヒド)

混和する (ICSC, 2000)

残留性・分解性

(グルタルアルデヒド)

TOCによる分解度: 86% (既存点検)

生体蓄積性

(グルタルアルデヒド)

log Pow=-0.18 (PHYSPROP DB, 2005)

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意**廃棄物の処理方法**

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号：2922

品名(国連輸送名)：その他の腐食性液体、毒性、N.O.S.

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：8

副次危険：6.1

容器等級：II

指針番号：154

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。食品、飼料と一緒に輸送してはならない。

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質(該当/非該当)：該当

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類) グルタルアルデヒド

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法 腐食性物質 分類8

航空法 腐食性物質 分類8

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物 グルタルアルデヒド(別表第9の139)

名称等を通知すべき危険/有害物 グルタルアルデヒド(別表第9の139)

変異原性が認められた化学物質 グルタルアルデヒド

化学物質管理促進(PRTR)法：第1種指定化学物質 グルタルアルデヒド(50%)

消防法：非該当

化審法：非該当

大気汚染防止法：有害大気汚染物質 グルタルアルデヒド

16. その他情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (7th revised edition, 2017), UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (Table 3 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によつて改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。